

小説,書き終えたら次は? Kindle出版までの5ステップ完全ガイド

Nolaで原稿を書き終えたら、次に待っているのは「本にする」ステップです。
ここでは、Kindle電子書籍として出版するまでの流れを5つのステップに分けてまとめました。
今すぐ動く必要はありません。書き終わったときに、この資料を見返してください。

STEP1: 原稿を仕上げる

Nolaで書いた原稿は、まずエクスポートして整形します。誤字脱字は自分だけで見つけるのが難しいため、音読チェックや、時間を置いてから読み返すことをおすすめします。

また、Nolaの縦書きプレビューでは「ー」「～」「…」などの記号が横向きに表示されることがあります。最終確認は、実際の入稿形式（epub等）で行うと安心です。

STEP2: 出版形式を選ぶ

大きく分けて「電子書籍のみ」「電子+紙」「電子+紙+オーディオブック」の3パターンがあります。まず1冊試してみたい方は電子書籍のみ、書店流通も視野に入れたい方は商業出版という選択肢もあります。

費用の目安は、電子書籍のみでおよそ**33万円～**、電子と紙の両方でおよそ**55万円～**が一般的な相場です。

STEP3: 編集・デザイン・入稿の流れ

原稿ができてから出版まで、おおまかに以下の順に進みます。

編集・校正 → 表紙デザイン → フォーマット調整 → Amazonへの登録・入稿

自分ひとりで全部やろうとすると、表紙デザインやフォーマット調整でつまづく方が多いです。この部分は外注・代行を使う方が結果的に早く出版できます。

STEP4: よくある失敗

- ✕ **Kindle審査に落ちる**：フォーマットの不備や規約違反が主な原因です。特にはじめての出版では、規約を細かく確認しないまま入稿して差し戻されるケースが多く見られます。

- × **途中で挫折する**：原稿は書けても、出版作業は勝手が違うため、「表紙が作れない」「フォーマットが崩れる」でモチベーションが落ちてしまう方が少なくありません。
- × **相場がわからず高額請求される**：出版サポートの相場感を知らないまま契約し、想定より費用がかさんでしまうケースもあります。事前に相場を把握しておくことが大切です。

STEP5: 迷ったら、まず話を聞くだけでもOK

「自分の場合はどのプランが合うのか」「費用はどのくらいかかるのか」は、原稿の状態や希望によって変わります。

浜松出版では15分程度の無料相談を行っています。電話でもZoomでも、話しやすい方法でご相談いただけます。原稿が完成していなくても、途中の段階でのご相談も歓迎です。

【参考: 料金プランの目安】

ライトプラン	電子書籍出版	¥330,000～
スタンダードプラン	電子書籍＋ペーパーバック	¥550,000～
プレミアムプラン	電子＋紙＋オーディオブック	¥880,000～
商業出版プロデュース	書店流通・全国販売	¥2,500,000～

※金額は税込の目安です。原稿の分量やご希望内容により変動します。

まずは15分、話を聞いてみませんか？

電話でもZoomでも、ご都合の良い方法でご相談いただけます。

原稿が完成していなくても大丈夫です。

[無料相談のお申し込みはこちら（Googleフォーム）](#)

Hamamatsu publishing 浜松出版